

第1回

中高年からの健康維持を科学する。「メタボと脳とスマートエイジング」

わたしたちの生活に役立つ最先端の科学早わかり。

- 日時：2007年9月5日(水)午後1時開演
午後0時30分開場(午後4時30分終了予定) 定員200名
- 場所：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア
仙台市青葉区春日町2-1 TEL 022-713-3171
- 入場無料 ※下記要領でお申し込みください。お申し込み多数の場合抽選となります。




講座 1 「画像で見る脳の老化」

東北大加齢医学研究所所長
福田寛 FUKUDA Hiroshi

脳は、年齢を重ねると神経細胞が死んで委縮していきます。福田研究室では、若い人から高齢者まで健康な日本人2,000人分の脳MRI画像を集め、加齢に伴う脳の変化を解析しています。その結果、高血圧やアルコール摂取、肥満などの因子が脳の委縮を加速することが分かったほか、最近では委縮の仕方には男女差があることも明らかになりました。脳を若々しく保つには、生活にどんな工夫が必要なのでしょう。

【講師略歴】
東北大学医学部卒。同大抗がん剤研究センター、弘フレデリックジュリオ研究所研究員、放射線医学総合研究所室長などを経て、1990年から同大加齢医学研究所長。



講座 2 「脱メタボの練筋術」

東北大学院医学系研究科教授
永富良一 NAGATOMI Ryoichi

メタボリックシンドローム(メタボ)は新しく降ってわいた病気ではありません。食べ過ぎや運動不足が原因で糖尿病や高脂血症になり、動脈硬化が進展して高血圧、さらに心筋梗塞や脳梗塞になる恐れがある状態です。でも、今のうちに生活習慣を見直せばなんとかなる可能性も高いのです。特に運動不足は今の日本人にとって大きな問題。生活の中で楽しく体を動かすヒントをお話します。

【講師略歴】
東北大学医学部卒。仙台市立病院医師、東北大学などを経て、2002年から同大教授。日本体育協会公認スポーツドクター。国際運動免疫学会会長、宮城県スポーツ医学懇話会会長なども務める。



講座 3 「スマートエイジングのためのIT医療」

東北大加齢医学研究所教授
仁田新一 NITTA Shin-ichi

日本はIT(情報技術)の先進国ですが、医学への応用は十分とは言えません。フィンランドでは、患者さんの経過観察、生活指導にも応用されています。仁田研究室ではIT外来構想を掲げ、医師・看護師がそばにいても診断治療ができるスマートエイジングの実現を目指した研究を行っています。仙台市や東北大などと進めている市民のための医療福祉領域への取り組みについても紹介します。

【講師略歴】
東北大学医学部卒。米国テキサス心臓研究所研究員、同大医学部助手などを経て、1996年から同大加齢医学研究所教授。99年から2001年まで同大副学長。2003年から同研究所臨床工学(フクダ電子)吉村研究部門教授。



東北大学創立百周年を記念し、読売新聞東京本社との共催で、東北大学の研究成果を市民の皆様にはわかりやすく学んでいただく市民フォーラムを3回シリーズで開催します。

第1回のテーマは「健康」です。それぞれ40分の講演のあと、質疑応答タイムがあります。



- お申し込み方法
「希望回・住所・氏名・職業・年齢・電話番号」を明記し、ハガキかFAXでお申し込み下さい。折り返し入場整理券を郵送します。
- ハガキ宛先 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-3-6 読売仙台ビル3階 読売新聞東北総局 「市民のためのサイエンス講座」係
- FAX送付先 022-222-8386
- お問い合わせ 読売新聞東北総局 TEL 022-222-4121

第2回予告 食の効能を科学する。「食べものが拓く無限の可能性」

日時 2007年10月17日(水) 午後1時開演
場所 せんだいメディアテーク1階オープンスクエア

【講師予定】
辻一郎・東北大学院医学系研究科教授
宮沢陽夫・東北大学院農学研究科教授
佐藤実・東北大学院農学研究科教授

第3回予告 夢みた未来はすぐそこに。「生命、宇宙、ロボットの科学で未来を拓く」

日時 2007年11月18日(日) 午後1時開演
場所 仙台市科学館2階特別展示室

【講師予定】
小菅一弘・東北大学院工学研究科教授
千葉聡・東北大学院生命科学系研究科准教授ほか